

主 な 取 組	人権の啓発						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	基本的人権の尊重という普遍的な視点から、総合的・体系的な教育活動の推進、人権教育に係る学習機会の充実などに取り組み、人種・信条・性別・社会的身分・門地（家柄）・年齢・障害の有無等による差別のない、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重する社会を目指す。							
取 組 状 況 及 び 成 果	人権の啓発、人権教育を推進し事業の継続を行い、内容の充実を図った。							
指標及び説明	【指標】 人権作文への取り組み率				【説明】 人権作文に取り組んでいる学校数により、人権啓発活動の充実度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
								100
		R 2 有事	100	100	100			R 8 有事
分 析	指導資料の作成や研修会の実施を通じて、指導内容の充実を図ることができている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続するとともに、これまでの人権問題に加え、生活様式の多様化や国際化、経済格差の広がりにより新たな人権問題が生じており、時代に合った人権教育・啓発活動に取り組む内容の充実を図る。							

※「平時」「有事」とは

本点検・評価報告書における平時とは、with コロナで、様々な制約を受けながらも、日常生活を取り戻しつつある状態を想定しています。有事とは、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出され、施設を休館する等、通常の事業ができない非常事態を想定しています。現状値の令和元年度は、年度末にコロナの影響を受けましたが平時とし、令和2年度を有事としています。平時における令和8年度の目標値は、令和8年度まで平時が続いた場合を想定し、有事における令和8年度の目標値は、令和8年度まで有事が続いた場合を想定しています。

また、有事においても、目標値に影響が無い場合は、「－」としています。令和3年度以降に、新規に開始した事業等で、令和2年度以前の現状値を示せない場合は、指標に「新規」と表記し、現状値を「－」としています。

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (1) 人権施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主 な 取 組	人権教育の推進							担当課	自己評価
								社会教育課	C
目 標	自ら学び、人権感覚と共生の心を育む人権教育を推進するため、人権啓発講座、人権教育実践報告会等を実施する。								
取 組 状 況 及 び 成 果	人権問題に関する講演会や講座を通して、広く市民に人権感覚を養い、問題解決のための学習機会を提供している。5 公民館で人権啓発講座（テーマ「災害と人権」「犯罪被害者の人権」「同和問題」「性的マイノリティ」「ケアラー」）を、3 公民館で夏休み人権映画会を開催した。人権教育推進事業として、小中学校PTAが実施している家庭教育学級のテーマに、人権問題を取り上げた。また、学校・PTA・公民館が今年度の人権教育の取り組み事例報告書を作成した。 夏休み人権映画会 3 回実施 延べ49 人 人権啓発講座 5 回実施 延べ73 人 人権問題講演会 53 人参加 PTA 家庭教育学級 5PTA 延べ207 人								
指標及び説明	【指標】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数					【説明】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		726	平時	平時	平時			800	
		R 2 有事	395	364	382			R 8 有事	
		315						800	
分 析	人権問題講演会は人権推進課と共催で実施し、PTA 家庭教育学級からの参加者を集めることができた。PTA 家庭教育学級では、従来の講座に加えて在宅型講座を取り入れ、参加者数が大幅に増えた。								
課 題 及 び 改 善 点	より身近に感じられるようなテーマを設定し、参加者の幅を広げられるようにする。また、人権推進課との連携を進める。								

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策		(1) 人権施策の推進		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	人権の啓発	学校教育課	A	B
	人権教育の推進	社会教育課	C	
学 識 経 験 者 等 意 見	人権の啓発については、指導資料の作成や研修会の実施が継続され、その内容の充実が図られていることが確認できました。人権作文の取組は、昨年に引き続き 100%を維持されていることは評価できます。 人権教育の推進については、人権問題に関する講演会や様々なテーマを取り上げた講座が実施されている点は評価できますが、参加者数が目標値より低い状況です。その理由を様々な角度から分析することが必要であると考えます。PTA 家庭教育学級において、在宅型講座を取り入れたことで参加者数が増えたことは1つのヒントにはなりますが、その他にも様々な理由を分析した上で工夫ある取組に繋げ、参加者が増えることに期待したいと思います。 自分を大切に、他者も大切にできる心を育むことは、教育の根幹として重要なことと考えます。自分を大切と感じ、他者も自分と同じように大切だと感じる心は、乳幼児期から育まれるものであり、人権教育の基盤になります。そして、それは子どもを取り巻く大人との関係において			

	日々の生活の中でその基礎が培われていきます。子ども一人一人の人権を尊重した保育士や教諭の姿勢が重要になるため、保育士や教諭としての倫理観や子どもの人権に対する知識・意識を高めていくための研修の取組、日常の保育・教育活動の中での自己評価の取組等についても同時に進めていくことが望まれます。また、今後は、乳幼児期からの発達を踏まえた人権教育の体系的なプログラムの充実にも期待したいところです。
--	---

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (2) 平和施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主 な 取 組	平和意識の高揚						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	「入間市平和都市宣言」の趣旨に基づき、基本的人権の尊重という普遍的な視点から、平和の尊さについての啓発活動を推進し、平和意識の高揚を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	「平和を願う講演会」を計画通り開催し、平和意識の高揚を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】 平和に関する講演会の実施				【説明】「平和を願う講演会」の学校の実施率により、平和意識の高揚度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		100	平時	平時	平時			100
		R 2 有事	100	100	100			R 8 有事
		0						
分 析	被爆体験の講演を通じて、平和の大切さ・尊さを学ぶことができている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図るとともに、講師が御高齢のため、新しい講師の発掘を行う。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策	(2) 平和施策の推進			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	平和意識の高揚		学校教育課	A
学 識 経 験 者 意 見 等	「平和を願う講演会」の開催を継続され、令和6年度も計画通り開催できたことを確認しました。このように平和について考える機会を継続的につくっていくことがたいへん重要であると思います。被爆体験者の直接の言葉で語られる話は、心に響くと共に、平和について一人一人が考える機会になることと考えます。 今後は、これまで続けてきたことに加え、世界で起きている紛争や私たちの身近にあるテーマ等、様々な視点から平和について考えることのできる取組を広げてほしいと思います。また、話を聴くだけにとどまらず、自分たちで調べたり、考えたり、意見を述べあったりすることも重要であると考えます。講演会の実施率を指標に評価がなされていますが、実施したことがどのように浸透しているのかについても確認できると良いと思います。			